

令和4年度の医療ツーリズム推進に係る取組予定について

1 あいち医療ツーリズム推進協議会の開催

外国人患者を円滑に受け入れるための規制緩和や海外への情報発信、関係者間の連携促進など、医療ツーリズムの推進に向けた具体的な取組を引き続き協議する。

2 ガイドラインの策定

県内の医療機関が安心・安全に外国人患者に医療を提供できる環境を整えるため、医療ツーリズムの受け入れにあたってのガイドラインを策定し県内病院に配布することで、医療ツーリズム実施医療機関を支援する。

(1) 対象

医療ツーリズムに興味があるが実務面での不安から実施できていない小規模～中堅の医療機関及び訪日外国人の受入を行った経験がある医療機関に対してより実践的な内容を説明するもの

(2) 内容

基礎編を踏まえて、現場でどのように実施していくかといった実践的な内容

3 医療機関向けアンケートの実施

医療ツーリズムの現状及び推進にあたっての課題について、これまでの変化等を明らかにするため、県内の病院を対象とした「外国人患者の受入れ状況に関するアンケート」を引き続き実施する。

(1) 日 程 令和4年5月頃

(2) 対 象 県内321病院の一部

(令和2年10月1日現在。病院名簿(愛知県)による)

(3) 方 法 電子メール等

4 海外PR事業

中国の国際医療旅游展覧会のうち上海での展覧会にブース出展し、来場者に向けたPRを行うことにより、愛知県の医療ツーリズム推進を図る。

また、中国では、特に都市部で老若男女問わずデジタル化が進んでいるため、出展に先立ってインターネット広告等を掲出し、展覧会の愛知県ブースへの訪問を呼びかけるとともに、愛知県の医療ツーリズム実施医療機関等の情報を掲載したパンフレットを作成することで、愛知の医療ツーリズムについて効果的にPRする。

(1) 日 程

令和4年11月(未定)

(2) 会 場

上海新国際博覧センター(上海)

(3) 内 容

県内から広く募集した医療機関と合同実施
(アンケート結果等を基に声掛け)

(4) 広告媒体の例

今日頭条(ニュースSNSアプリ)、百度(検索エンジン)

